



ひかりのその

社会福祉法人雲柱社

光の園保育学校

2023 年度 3月号

寒い日は続いているが、スカイツリー近くには河津桜が満開になり、新たな季節の到来を知らせています。光の園分園もこれまでの外手小学校からお引越しになります。両国駅の目の前に新たに居場所を設けさせて頂いて“両国駅前分園”としてスタートをしていきます。かわいらしい内装と規模の新分園になりますが、本園と共にこれからもぜひ！よろしくお願ひいたします。

さて、ばら組さん、ゆり組さんは月曜日、担任と牧師と園長が交代で聖句をテーマにしながらいろいろなお話をする機会を設けています。「あなたがたは、かみに あいされているこどもです。」「かみは、あいです。」「あなたがたには、よで、くなんがある。しかし、ゆうきを出しなさい。」等、聖書の中に出でてくる聖句を元にしながら、家族や身近な人たち、そして自分自身も含めて愛することの意味を皆で一緒に思うひと時を大切にしています。愛ってなあに?と聞くと、“ハート!” や “好き!” という言葉が子どもたちからは出てきます。時よりうーんと考えるばら組さんの隣では、少し大人になったゆり組さんから“大切にすること” という応えが返ってきました。ところで先日の聖句は「すべての人が食べて満腹した。そして、残ったパンの屑を集めると、十二の籠いっぱいになった。(マタイによる福音書 14:20)」でした。神さまは、散らされたパン屑のような小さな命も大切にされるという聖書の物語の中の一節に込められた例え話やメッセージを、子どもたちに伝えるには時々、難しいなあと考えてしまします。でも、パン屑も食べちゃうよ!とっこり笑顔で話す子どもたちには、そもそも難しい理屈を教えることより、むしろ大人も一緒に思い考える方がふさわしいように感じます。聖句のお話に併せて、今年度は、珍しい木の実の話や野菜と種の話、SDGs やリサイクルのお話等、プロジェクトを活用しながら広げていきました。一人ひとりの子どもたちが、人種や民族、国を超えてお互いに大切にことができる世界を、担っていくことを願う次第です。

光の園保育学校 園長

「新しいぶどう酒を古い革袋に入れる者はいない。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。」(マタイによる福音書 9:17 より)



<3月の予定>

5日（火）卒園式総合練習①

7日（木）卒園式総合練習②

9日（土）卒園式

14日（木）誕生会

21日（木）ゆり思い出遠足

27日（水）6年生の会

2024 年度 社会福祉法人雲柱社第三者委員会の方は

野原 健治 (興望館理事長)

高木 恒子 (雲柱社評議員)

菊地 せい子 (元 福) 雲柱社施設長)

中村 文子 (NPO 法人若駒ライフサポート)

齋藤 治俊 (御殿場市子ども保育課指導員)

佐藤 久美 (御殿場市主任児童委員)

龜谷美代子 (元 (福) 雲柱社施設長)

です。 館内に掲示してあります。

つぼみ組【高月齢】
(0歳児)

好きなもの、とことん

最近ブームなのが、絵本を見ること。「今日はこれにしようかな～」と棚の前でじっくりと選んでる姿があります。自分1人で静かに読みたい時、大人の膝に座って読んで欲しい時等々、気分によって楽しんでいます。

車が大好きなAさんは車種を覚えていて、保育者が「ブルドーザーは？」と聞くと「これだよ！」と指差して教えてくれます。びっくりするのが大人でもわからないような車も「これでしょ？」と当てられることです。暗記できるほどじっくり読み込んでいるのが伝わりますよね！

もも組
(1歳児)

「太鼓の○人！？」

もも組の一角に手作り太鼓が設置されました。近頃、棒状のものでトントンと音を鳴らすのが好きだった子どもたちは太鼓を見るや「なにこれ～！」と興味津々！太鼓とわかると面や縁を叩き始める子どもたち。暫くすると自分の知っている歌を歌いながらリズムに乗って叩いたり、2本あるバチを友だちと分け合いマイクに見立てて歌いだし、カラオケ大会のようになったりする様子がありました。保育者が意図していた使い方の幅を超えて自分たちの思いつくままにあそぶその発想に、子どもたちはあそびの天才だなと思う日々です！

たんぽぽ組
(2歳児)

「続・○○デビュー！！」

前回の園地でお伝えした庭あそびでのアスレチックデビューに引き続き、今回はらせん滑り台デビューを果たしました！！！避難用としても使っている滑り台の為、階段はなくそのまま坂を登ります。下から登る経験をあまりしたことがない為、デビューした時の時は登っても「あらら～」と言いながら、滑り落ちてしまうこともありました。ですが、コツを掴むとひよいひよいの一人で登りはじめ、今では駆け上りながらラクラク頂上へ。

子どもたちの運動能力・適応力が素晴らしい、若いつて羨ましいなーと感じます…。

つぼみ組【低月齢】
(0歳児)

おもちゃのお片付けが少しずつできるようになってきた子どもたち。「ナイナ～イ」と言いながら棚におもちゃを片付けて自画自賛の拍手！をしています。ある時、Aさんの隣で指先に“何か”を持ってそれをじ～っと見ていたBさん。何だろう？とその手を見てみるとそれは細くて短い髪の毛でした。その後それを「ナイナイ」とAさんの頭に戻そうとしていました。いろいろなことがわかるようになり、この一年で心も身体も大きく成長した子どもたちに保育者たちは日々癒され、楽しい気持ちをいただいています。

さくら組
(1歳児)

「ミニ先生たち、ありがとう！」

この一年でお友だちとのかかわりが増えてきており、名前を呼んであそびに誘ったり、お休みの子どもがいると「今日、○○くんお休み？お熱？」と心配したりする姿もあります。また、泣いている子どもがいると、近くに行き頭をなでたり、ティッシュを渡したり…「どうしたの？転んじゃったの？先生のどこに行く？」と声を掛けたり、実際に自分も転んだ振りをして「ここで○○ちゃん転んでたよー」と現場検証を始めたり…その姿はまるで保育者のようです♪子どもたちによって表現の仕方は様々ですが、他児のことを思い行動する優しさに、何度もすぐわれました。そんなかわいいミニ先生たちと一緒に、残り1ヶ月も楽しんでまいります！

すみれ組
(2歳児)

「雪あそび♪」

雪が降った翌朝にタライいっぱいに雪を集めて、部屋で雪あそびをしました。手で触り「つめた～い！」と感触を楽しんだ後は、お椀やカップ、おたまと用意し“かき氷”を作ることに！山盛りに雪を入れ、シロップ（水性インク）の色を選び、かけて本物のかき氷さながらで思わず食べたくなるような出来上がりとなりました♪その後はかき氷をタライに戻して混ぜ「みどりいろになった！」「カラフル～」と色の変化を楽しんでいました。「またやりたい！」と子どもたち。次降るのはいつかな??

3才児クラス

ちゅうりっぷ組



△△△ デビューしました!

ちゅうりっぷ組です。ちゅうりっぷ組でずっと遊んでいるデュプロブロックよりも少し難しいPAX。違いは小さなデコボコをはめ込んで組み立てる所、そして「作り方の本」があることです！その本には組み立てる手順が図解されて書かれているのですが、描かれている絵を立体的に理解しなければいけないので、なかなか難易度が高そうだ…と思っていたのですが、1人で本を見ながらサクサクと作る姿が！本を使いこなしている姿に思わず関心してしまいました。本を見る他にも、自分で組み立て方を考え出し、オリジナルの作品を作る姿も、子どもたちにとってすっかり定番の玩具となったPAXです。

*デュプロブロック…大きめのレゴブロックのことです。



「このおはな、バラみたいだね」

折り紙も上手になってきたので、おはながみを出しました。見本として1つ作ってみると「かわいい！」「つくりたい！」とまわりに子どもたちが集まってきたので、早速チャレンジしてみることに！折り方を教えると「おりがみのリボンになっちゃうじゃん」と不安そうな表情でしたか、広げ方まで教えると「わあ！おはなになった！」と嬉しそうな様子♪蛇腹に折ったおはながみの端を斜めに切る所と、真ん中をスズランテープで縛るところ以外は自分たちで作っています！完成したお花を集めてブーケのようにしたり、髪飾りにしたりする姿がとても可愛らしいです。



◆認め合える仲間◆

ある日、跳び箱を行っていた子どもたち。普段は2段分の跳び箱の高さで練習をしています。中でもAさんはかなり余裕で跳んでいる様子…。そこで、Aさんの時は3段に増やしてみました。すると…“ぴょん！”軽々跳んでいました！！それを見ていた周りの子どもたちは、「Aくん、すごい！！ねえ見て、Bちゃん、Aくんすごいよ！！」と自分のことのように喜んでいました。さらに、“自分も跳べるようになりたい”とそこから周りの子どもたちのスイッチもON！何度も何度も練習していました。

他の場面でも、子どもたちの会話の中で「Cちゃんはすごく優しいよ」「Dくんは、これすごいんだよね」と子ども同士で素敵なところを口に出して、認め合っている姿が多く見られます。

“自分にはできない”と自信をなくすのではなく、相手の素敵なところを素直に認めて、“自分もやってみよう”としている子どもたち。さらに自分でできることには自信を持って全力で取り組み、自分の素敵なところもわかっている姿もあります。こんな風に育ちあっている姿を見て、とても嬉しく思いました。

一年間で、やりたいことをたくさんやってきたばらぐみの子どもたち。なにごとも全力で楽しんでいて、思いをぶつけ合いながらも、相手に思いやりを持っていて…なんてすてきな子どもたちなんでしょう…。ばらぐみのみんな、一年間、私たち担任のことを楽しませてくれてありがとうございます！残りの一ヶ月も思いっきり楽しんでいこうね！！そしてここからさらに飛躍して子どもたちの姿を見守ることが楽しみです！！！

ゆり組
(5歳児)



いろとりどり

某子どもも向け番組で歌われた「とり」という曲を、今年一年テーマソングのように歌い続けてきました。その歌詞の中には飛べない鳥でも勇ましく走ったり、高らかに歌ったりと、空は飛べなくてもできることはたくさんあるというメッセージが込められています。子どもたちは毎日歌いながら、まさしく歌に出てくる鳥のようにできないことがあっても自分のできることを精一杯発揮しています。そしてその気持ちは他者にも向けられるようになり、「～なら〇〇くんが得意だから聞いてこよう！」「～といつたら△ちゃんだよねえ」と友だちの得意なところ、良いところを見つけられるようになりました。また、苦手なところもきちんとわかつており、「ここわかる？」「大丈夫だよ」「できたね！！」とフォローしたり、苦手なことができた喜びを分かち合ったりもしています。その姿は**友だち**の枠を超え、全てひっくるめて受け入れた**仲間**になっているのだと嬉しく思っています。

これから先の新しい出会いの中でいろいろな人と出会うでしょう。その中で自分が自分であることを誇りに思えたり、人は自分とは違うということを面白がれたり、他者と共に生きることに喜びを感じていってほしいと願っています。

個性豊かなゆり組のみんなと一年間過ごすことができて、毎日笑ったり泣いたりと感情が忙しい！だけどそれが面白い！毎日幸せだったのは子どもたちのおかげです。ありがとうございました☆

「ひとりひとりは いろとりどり おなじじゃないから おもしろい」
(「とり」より抜粋)



ほけん

予防接種が変わります！

現行では4種混合の接種が行われていますが、これに肺炎や髄膜炎などを引き起こす Hib 感染症を加えた5種混合が4月から行われます。5種混合になることで接種回数を減らすことができます。これまでの数年間はコロナ禍や一時的なワクチンの品薄で接種し忘れることが起きました。一度接種忘れないかご確認いただくとともに、年度末に「予防接種歴」をお渡しします。



おしょくじ

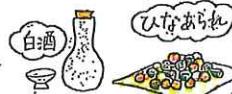
3月3日

ひなまつり

いわれ

女の子の節句として祝われている「ひなまつり」は、ひな人形を飾り、桃の花、白酒、ひしもち、あられなどを供える風習がゆきわたっています。

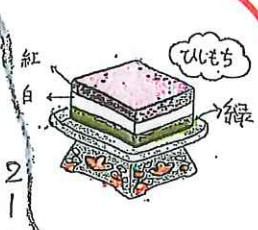
小さな人形を作り、それが災難を引き受けくれると考えられていました。その人形に、感謝と供養を込めてごちそうするようになったのが、まつりの始まりとされています。



○はなびらすし○

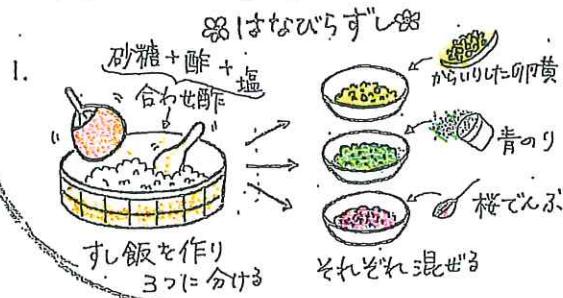
【材料】(2合分・すべて可食量)

米	2合
水	炊飯器の線 合わせ酢
卵黄	1コ分
青のり	5g
桜でんぶ	25g
醤油	2
砂糖	1
塩	1
焼のり	2枚半分(お好みで)



【作り方】

- すし飯を作り、3つに分ける。それぞれにからいりした卵黄、青のり、桜でんぶを混ぜ、3種のすし飯を作つておく。
- 細巻き用に作ったのりを巻いて3種類ののり巻きを作り、花びらのように盛りつける（まるく巻かずには、花びらのように貼り付ける感じにするとよい）。



花びらのように盛りつける



お知らせ

やまびこの投書はありませんでした

3月1日より、本園栄養士 三澤冴美 はハ広ぶどうの木保育室へ異動となりました。



安全上の為、引き渡し後は、園庭やピロティでは遊ばないで下さい。

先月にお配りしました、2024年度家庭状況申請書の提出期限は、3月5日(火)です。宜しくお願ひ致します。